

Vol.4 2017夏号

Reborn



益城病院基本理念

社会医療法人ましき会は、患者さんとそのご家族に対し
最善のプロフェッショナルサービスを提供し、
精神科医療の責任ある担い手として、地域の医療・福祉・文化に貢献します。

「五つの誓い」

1. 私達は、精神科医療を通じて社会貢献に努め、
社会医療法人としての公益的使命を果たします。
2. 私達は、こころを病む人々に対し、尊厳を損なうことなく、
心身の健康づくりに努めます。
3. 私達は、こころを病む人々が、
地域で安心して暮らせる環境づくりに努めます。
4. 私達は、お互いの立場を尊重し、働きがいのある職場づくりに努めます。
5. 私達は、医療の質を高めるため、日々、自己研鑽に努めます。

「患者さんの権利と義務」

1. すべての個人情報を守られます。
2. 医療上の情報について十分な説明を受けることができます。
3. 医療行為について自ら選択することができます。
4. ご自身の負担で、他の医療機関の医師の意見を聞くことができます。
5. いかなる場合も人格的に尊重され、平等な医療を受けることができます。
6. 適切な医療のために必要な情報を伝え、主体的に治療に参加してください。
7. 病状の改善及び共同生活を維持するため、規則や指示を守ってください。
8. 医療にかかった費用を支払う義務があります。

「新しい酒は新しい皮袋に入れよう」

理事長 犬飼 邦明

紆余曲折を経て、ようやく「益城病院復興計画PLAN2020」の目指す方向性が決まりました。まず入院診療ですが、精神科医療ニーズの多様化に合わせて治療構造の階層化を図ります。目指すのは個室化、ユニット化、そして入院期間別病棟です。大まかに15人程度の患者さんを1ユニットで診ることができるようにして、4単位程度で1病棟を構成します。最近の統計によると、急性期入院はBPSDを伴う認知症、統合失調症、気分障害、アルコール関連問題でほぼ4分されており、短期集中治療を目指します。

重度慢性期病棟は、長期入院を余儀なくされてきた治療反応性の低い方や生活・行動能力の低下した方が中心になり、こういう方々にこそプライバシーや個々のテリトリーを重視した環境が守られなければなりません。亜急性期病棟にはより多様な方が入られますので、個別対応が長期化を防ぐ決め手となりましょう。まさに、医師、看護師、作業療法士、心理士などが知恵を絞っての総力戦となります。目指すものは「自分達が入院したくなる病院」、そして「断らない医療」です。



犬飼記念美術館にて犬飼由貴子会長と

外来・在宅診療では、スタッフ間の情報の共有化を図るために、これまで各部署に分散していた診療支援担当者を一部屋にまとめ、顔が見え声が届く関係を作ります。スタッフの都合や部署機能を中心として分散していた治療プログラムを、利用者を中心においた包括的ケアに切り替えます。精神障害者の高齢化が進む中、組織面の見直しを図り、医療、介護、障害、地域の包括ケアに対応できる体制を作ります。外来では相談機能を充実させ、患者さんの流れをスムーズにして待ち時間を短縮します。デイケアも、状態や疾病に合わせた個別対応ができる構造にしていきます。

実は、このような計画は5年ほど前に「益城病院将来ビジョン」として策定したのですが、壊滅的被害を受けた熊本地震からの復興計画にも十分生かせるものなので、ピンチをチャンスに変え、これまでできなかったことを是非実現していきましょう。

『新約聖書』マタイ伝第九章に、「新しい酒は新しい皮袋に盛れ」という一節があります。新しいぶどう酒を古い皮袋に入れば、酒も袋もだめになる。新しい内容や思想を表現するためには、それに応じた新しい形式や方法が必要である。いつまでも古い形式にこだわってはいけないということです。

「七転八倒 一文字替えて 起き上がれ」。

「将来ビジョン」から 「益城病院復興計画PLAN2020プロジェクト」へ

法人事務局 課長 佐伯 貴志



熊本地震から1年が経過し、まだまだ復興の途中です。そんな中、今年1月に発足した「益城病院復興計画PLAN2020プロジェクト」の大枠（方向性）がようやく決まり、これから実施、検証、見直しと、PDCAサイクルに沿って進めていく段階にあります。

このプロジェクトは、混沌とする社会情勢に伴い、大きな変化が予想される医療情勢を踏まえ、今後、当院がどのような医療を提供していくのかを検討した「将来ビジョン」（2012）を軸としており、以下の4分野で構成されています。

A 入院機能再編について

C 外来機能と地域活動について

B 在宅支援のあり方について

D 設備環境・給食・災害対策について

昨年末、理事長より「今後の病院づくり」への意見募集が掲示され、多職種から忌憚のない意見が多数寄せられました。その方々を中心に、多職種からのいろいろな意見や経験値を吸い上げること、多くの職員に関わってもらうことを目的に、1グループ30～40名前後でチームを編成しました。各チームに時間調整しながら、さまざまな意見や思いが議論されておりま。

こうした議論や事案をもとに、目標項目と時期を設定し、2017年4月の復興イベントで各グループがまとめた提案をパネル展示しました。こうして「PLAN2020プロジェクト」はスタートラインに立ったのですが、これから待ち受ける課題や苦難を乗り越えながらその実現に向けて進めていきます。今後とも各関係者の方々はもとより、スタッフの皆さんのご協力、ご支援を賜りますようお願いいたします。

Aチーム 『入院機能再編グループの取り組み』

認知症治療病棟 病棟長 梅田 亮一

「益城病院将来ビジョン」を受け、各職種とともに、さまざまな入院治療のあり方を討議しながら、新たな治療方法の導入について意見を交わしています。

また、他施設の見学も行い、医局の先生方のアドバイスも反映させて準備に取りかかっています。2020年に向かってできるところから取り組みを開始し、当院の治療選択肢が増えることで、患者さんの一日も早い退院が実現でき、退院後の患者さんに対しても、地域における益城病院の資源である医療、福祉、介護と密に連携しながら、寄り添い支えることができる体制づくりを、スタッフ全員で力を合わせて取り組んでいきます。

職場インフォメーション

第1回 宿泊型自立訓練事業所 コスモ

これからもよろしく!

施設長 園田 烈



コスモが開所して約1年半が経過しようとしています。コスモでは、現在20歳から75歳まで20名（男性12名・女性8名）の方が、地域生活に向けて頑張っています。平成28年度の実績をみると、入所8名（入院から6名・在宅から2名）、退所4名（入院2名・自宅へ1名・他施設へ1名）となっています。

自立訓練事業は、「地域生活を営む上で必要な、生活能力の維持向上」を目的としています。コスモの支援内容としては、本人の「こうなりたい」を大事にし、ご家族や医療機関、相談支援事業所等と連携しながら、個々に地域生活に向けた目標設定を行います。目標の実現に向け、集団活動（就労訓練・スポーツ・マナーや薬・社会資源に関する学習会・趣味余暇・WRAP等）、個別活動（日常生活支援等）を行いながら地域生活を目指していきます。まじき会で



も初めての事業であり、毎日いろいろな事との連続で、試行錯誤しながらの運営です。

最後に、昨年の熊本地震では、益城病院、コスモでもライフラインがすべて停止し、食料や水、生活用品の確保も困難となりました。私の発信不足もあり、皆様に情報発信やお礼ができていませんでした。地震から今日まで、利用者、ご家族、精神保健福祉士協会の皆様、近隣や施設関係の方、行政、フットサル等を通じてつながりができた方々、ボランティアの方々、在宅関連の職場の皆様・・・多くの方々にご支援いただき、乗り切ることができましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。

ただ治す“Cure”から 健康を維持する“Care”へ —歯科室のReborn—



熊本大学大学院 生命科学研究部
歯科口腔外科学分野

講師 吉田 遼司

この度、益城病院の広報誌『REBORN』に私たちの活動を掲載させていただくにあたり、先ず、昨年の熊本地震において有形無形のご支援を頂いた皆様にお礼を申し上げます。

当科は、以前から益城病院へ歯科医師を週2回派遣し、院内患者の歯科治療を中心に活動しておりました。2016年4月の熊本地震の影響で、残念ながら一時閉鎖となりましたが、その後、関係各位の尽力により2017年2月より再開し、現在は毎週水曜日および月1回金曜日に、当科から歯科医師1名を派遣しております。活動内容としては、以前同様に院内患者の歯科治療が中心です。一方で、広報誌の誌名同様に歯科室も“生まれ変わろう(REBORN)”としています。今回はそのことに触れたいと思います。

熊本地震は非常に多くの教訓を残し、私たち医療従事者も多くのことを学びました。その中の一つに「口腔ケアの重要性」があります。今回の震災でも、誤嚥性肺炎や感染症予防などさまざまな観点から、多くの歯科医療従事者が被災者の方々の口腔ケアにあたり、その活動は全国ニュースで取り上げられました。それはひとえに、支援を必要とする方々の口腔の健康が非常に脆弱であり、すぐに失われてしまうことを目のあたりにしたからに他なりません。このような教訓を元に、益城病院でも、再開にあたって口腔

ケアのプロフェッショナルである歯科衛生士の採用が決定し、中村結巳さんが院内で活動を開始しています。具体的には、院内各所を回診して重点的に介入が必要な方をピックアップし、口腔ケア、口腔ケア指導に携わっています。また、私たち歯科医師も、他職種の方と連携してスタッフや患者さんへの啓発活動などを始めています。

これまでの“歯科治療(Cure)”から“歯科治療(Cure)&口腔ケア(Care)”へ、歯科室も生まれ変わろうとしています。大きな困難を経て生まれ変わりつつある益城病院とともに、歯科医療のプロフェッショナルとして共に歩んでいけることを祈念しつつ、日々の診療に励みたいと考えております。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。



歯科医師
内藤 久貴

皆様の健康管理に「ひろやすクリニック」をお役立てください！

院長 永田 美与



ひろやすクリニックは、今年1月、益城病院の北側に隣接し開院しました。内科一般の初期治療や慢性疾患（高血圧症、糖尿病、高コレステロール血症等）の管理を主とし、皆様の健康管理のお役に立ちたいと考えております。

月曜午前中は、熊本大学病院循環器内科の金丸医師の診察となり、心エコーやホルター心電図（24時間心電図）等の検査が可能です。不整脈や心臓弁膜症の診断、慢性心不全や虚血性心疾患慢性期の管理等を行っております。また、金曜午後は、熊本大学病院消化器内科の園田医師の診察で、必要に応じて腹部超音波検査を行っております。

その他、曜日に関係なく、血液検査、

尿検査、胸部・腹部レントゲン検査、心電図、糖負荷試験、ピロリ菌検査等が可能です。超音波検査（腹部、心臓、頸動脈、甲状腺）や胃内視鏡検査、予防接種（インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌等）は、予約制となっております。

待ち時間短縮のため、診察は予約制をとっております。ただし、急病の方は、この限りではございませんので、具合の悪い方は当日でもお電話ください。

当院で困難な検査や治療は、専門医受診をお勧めし、紹介状作成や受診の予約等を行っております。これからも、かかりつけ医として、地域に根ざした診療を心がけてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

皆様、はじめまして！ 新任医局紹介



副院長 渡邊 信夫

本年6月より、益城病院で働くことになりました。よろしくお願いいたします。

1989年に熊本大学を卒業し、精神科に入局。大学病院での研修終了後は、東京、千葉の病院で精神科救急、一般救急等の勉強をしました。

1996年4月に熊本に戻り、2000年9月まで現在の国立病院機構熊本医療センター精神科で勤務しました。熊本に戻ってすぐ結婚し、2人の子どもは熊本で生まれ、私たち家族の原風景は、二の丸公園から新町一帯にあります。

その後は、故郷の宮崎の県立宮崎病院、高宮病

院で勤務しておりました。熊本には17年ぶりに戻ってきたことになります。宮崎にいた頃は、南海トラフ地震に備え、全国規模でのDPATの訓練などもしておりましたが、まさか、熊本に地震が起きるとは考えてもいませんでした。甚大な被害の状況には衝撃を受けました。

益城病院は、新しい病院作りに取り組みされているとのこと。犬飼先生にお誘いいただき、以前大変お世話になった先生の勤めもあり、いろいろなご縁も感じ、益城病院で勤めさせていただくことにしました。今のところ慣れないことばかりで、ご迷惑をお掛けすることの方が多い状態ですが、少しでも早く病院の一員として働けるようになればと思っています。 [2017年6月1日入職]



精神保健指定医 宮本 初音

昨年10月から週1回、外来を担当しております。福岡在住で、熊本県内で仕事をするのは初めてです。昨年の5月から6月にかけて、地震の後、益城町内で避難している方の聞き取り調査をしました。その後、町がどうなっているのか気になっていたところに、母校のメーリングリストで益城病院が医師募集をしていると知り、お願いして参上することになりました。

福岡ではクリニックの非常勤という立場なので、入院施設のある大病院で仕事をするのは久しぶり

で、いろいろな部署の方がそれぞれの立場で能動的に仕事をなさっているのが非常に興味深いです。また電子カルテの徹底ぶりにも驚きました。

院内にあるギャラリー「犬飼記念美術館」も素晴らしいです。病院ロビーに絵を飾る施設は少なくありませんが、しっかりした学芸員に構成してもらって毎月新しい展示をし、記録集も発行しているなんて、めったにあることではありません。実は私も医師業と並行し、美術展の企画をしております。光栄なことに、9月に熊本ゆかりの若手作家展を計画させていただくことになりました。6月現在、鋭意企画中です。どうぞお楽しみに。これからもよろしくお願い申し上げます。 [2016年10月13日入職]



西尾 啓

本年4月1日から益城病院でお世話になっています。熊大神経精神科3年目、西尾啓です。

精神科とのご縁としては、母がくまもと心療病院で看護師として勤めていたことがあり、子どもの頃は毎年夏祭りに参加し、映画上映を楽しんだり、頭を撫でてもらいながらお菓子を貰ったり、盆踊りを眺めたり、広すぎる院内を冒険したりした記憶がうっすらとあります。今考えると、夏祭りに参加されていた方のなかには、普段は入院治療をされていたり、患者さんのご家族もおられたのかもかもしれませんが、祭りなので皆笑っていた記憶しかありません。

心の問題は非常に人それぞれです。「昨日までできていたことが・・・」と症状に波もあり、安定と不安定を繰り返し、きつい思いをされる方もいます。例えば、厳しい食事制限をしても糖尿病が悪化する人、高血圧で悩まれる方がいます。そういった、人より疾患になりやすい方には、生活習慣の改善と糖尿病薬、高血圧薬内服でのコントロールが必要となります。同様に、人よりも悩みやすい方、敏感な方が問題を抱えすぎた結果、精神症状と呼ばれるものが出現してしまうことがあります。私は、しっかりそういう人達の話聞き、一緒にコントロールできるようになりたいです。患者さんの笑顔が増え、行動範囲が少しでも広がればと思います。

[2017年4月1日入職]



精神保健指定医 岩佐 二郎

はじめまして、岩佐二郎といいます。私は、犬飼理事長と同じ福岡大学出身で、地域に根差した益城病院の良さを大学の精神科の医師たちから常々聞いておりましたので、この度のご縁を嬉しく思います。

昨年まで、大阪で約10年間、産業医をしていました。その経験の中で、トラブルや行き違いを未然に防ぐために、患者さんに必要な情報をきちんと伝達することの重要性、患者さんや家族との意思疎通の大切さを感じてきました。企業から病院へと舞台は変わりますが、これからも、浪花節的な甘い理想論に流れることなく、公平な視点で患

者さんと向き合い、現実に沿って、できるだけ率直に物事を伝える努力をしたいと考えています。

趣味は歴史関係の本を読むこと、さまざまな資格を取ることで、そして、小学4年生の時に始めた将棋。将棋指導員の資格も持っています。将棋の醍醐味は、相手も自分も含めた全体を俯瞰する大局観ですが、これは、医師が患者を診る時にも必要なことでしょう。外科医の父が、昔よく言っていた「一步引いて全体を見ろ。病気だけでなく全身を見る」という言葉にも通じるように思います。今、藤井四段の影響で空前の将棋ブームになっていますが、私も、将来は将棋教室を開いて、一人はプロ棋士を育てたいと思っています。

[2017年4月1日入職]



吉富 碧

はじめまして。2017年4月から益城病院にて週に1日勤務をしています、吉富 碧と申します。長崎大学を卒業し、2年間の初期研修は引き続き長崎で行いました。昨年の4月に縁あって熊本の地に来ることになり、熊本大学医学部附属病院神経精神科に入局しました。1年間大学病院での修練を行い、認知症から成人期の発達障害など様々な症例を経験しました。益城病院での勤務では、患者さんや上級医、スタッフの皆様から色々学ばせていただければと思っています。

外来診療が中心となりますが、訪問診療やへき地診療などで、地域の患者さんの生活や患者さんに求められるものも学んでいければと思っています。

ちなみに、学生時代にアルトサックスを吹いていたこともあり、趣味は音楽鑑賞です。休みの日にライブや音楽フェスに行くことが今は楽しみの一つです。

まだまだ不慣れな所もありますが、益城病院や地域に貢献できるように、一生懸命診療に取り組んでいきますので、これからよろしくお願い致します。

[2017年4月1日入職]

～熊本地震・応援診療記～

益城病院での活動を終えて

医療法人益豊会
博多祇園メンタルクリニック
副院長 西浦 研志



熊本地震から1年になろうかという今年の2月から3月にかけて、毎週、外来診療に携わった。益城病院の常勤医がほぼ半減してしまった、という知らせに応じたの応援診療だった。2月には、新患の予約が取り消しになると途端に暇になり、医局でお茶を飲んでた。昨年の秋からすでに非常勤として、やはり福岡から来ている宮本先生は忙しそうにしているので、いささか肩身が狭かった。それでも、鮫島医局長から「地震直後の混乱が続いていた間、新患受付を中止していた」と聞いて、少しは役割を果たせているか、と思えた。地震の直接の影響で精神不調をきたした新患は少

なかった。

3月になると、初診で会った人が再来するようになった。松永院長の話では、外来診療の流れが元に戻り、減りつつあった入院患者数が増え始めていた。4月からは月に1回、第3金曜に天草の湯島への僻地診療を手伝った。それも、本日で終了した。

日本の精神医療の先輩は、災厄が起きても、それをきっかけにして、法制度、医療福祉体制を改善するしたたかさを示してきた。それでも災厄はない方がよい。九州の海と山が穏やかであれ、と願っている。

【特集】犬飼記念美術館

「こころと心」のミュージアムをめざして



2016年4月の熊本地震で、犬飼記念美術館も甚大な被害を受けました。あれから1年余りの月日が流れ、当館も復興に向けた新しい取り組みを行おうと、これからの道を模索しています。

新たな復興の理念として、次の五つを掲げました。

犬飼記念美術館 理念

- 1 「こころと心」を見る
- 2 「こころと心」を読む
- 3 「こころと心」を学ぶ
- 4 「こころと心」を語る
- 5 「こころと心」を結ぶ

このような理念に沿って、いろいろな人、さまざまな活動を紹介したいと企画しています。私たち犬飼記念美術館の活動は、これから、益城町の復興への道しるべとして取り組んでまいります。「身近の美」や「用の美」などの企画展示を予定しています。多くの方々に会場でゆっくりご鑑賞いただけますようご案内いたします。

企画・運営担当ごあいさつ

犬飼記念美術館 坂本尚文

熊本地震の発生から、早1年と3ヶ月を経て、皆様の復興へのたいへんなご尽力と使命感に敬意を表します。

私は、4月より犬飼記念美術館におきまして、阿蘇品保夫先生の後を受け継ぎ、展覧会等の企画・運営に携わることになりました、坂本尚文（さかもとなおふみ）と申します。

3月31日を持ちまして、熊本県伝統工芸館を退職いたしました。犬飼記念美術館の企画・運営に携わることができ、たいへん光栄に思っております。

私は菊池郡大津町下町というところに生まれ、生粋の熊本っ子です。益城病院とは深い御縁を感じております。30数年前に、祖母がたいへんお世話になり、ずいぶん通ったように記憶しております。

現在、妻と妻の母92歳、雑種の犬一匹（名前はりく・雄）と暮らしております。子供は一男一女、長男はまだ、大学生で長女は就職しております。

自分のことを紹介することは、少々照れくさいのですが、まず、性格は、ザッとして「のんびり屋」だと思います。趣味は、犬に引っ張られ歩く散歩です。大好物は「なすび」です。幼少のころから、畑になっていたなすびをよく食べさせられました。

実は、今、このような仕事というか企画等をやっておりますが、中学校の時美術は苦手で、絵を描くのは「へた」でした。しかし、なぜか、このような道に入ってしまう、不思議なものです。

これから、いろいろな企画をしていきたいと思いますので、貴重なご意見などいただけますと有り難く思います。



平成29年度 犬飼記念美術館 年間スケジュール

* 熊本地震復興特別企画	4月11日(火)～4月30日(日)
* ましきの美 益城の道	5月2日(火)～5月21日(日)
* 二子石義之版画コレクション展	5月23日(火)～6月11日(日)
* 甲佐町文化倶楽部展	6月13日(火)～7月1日(土)
* 夏のたより 涼しさを楽しむ ・絵画、団扇や浴衣などを楽しむ	7月4日(火)～7月30日(日)
* 熊本県立第二高等学校美術科作品展	8月1日(火)～8月27日(日)
* 益城町にアートがやってきた	9月5日(火)～9月24日(日)
* 地域公募展(裂織展)	9月27日(火)～10月1日(日)
* 開館12周年記念展 ・竹に生きるころろ 宮崎珠太郎	10月3日(火)～11月5日(日)
* 地域公募展 書・里帰り展	11月7日(火)～11月12日(日)
* 写真に観る こころと心の表情展 ・水野ヒロシが撮影した笑顔を写真展	11月14日(火)～12月24日(日)
* 世界の風・日本風 天まであがれ 熊本市在住の船崎直一の風コレクションから	1月6日(土)～2月4日(日)
* 描くこころと心 伊藤浩一の絵画	2月5日(月)～2月25日(日)
* 尚絅大学 黒の美展	2月26日(月)～3月31日(土)

リレーコラム

No.1

充実! Off Time

私のライフワーク、ラグビー

施設 岡野 俊博

私は、ラグビースクールでチビっ子たちを教えています。息子が小学校1年になってスクールに入校したのを機に、私もコーチに誘われました。ラグビー選手としての経験はありませんでしたが、以来、19年になります。今は一番年下の幼稚園児と1、2年生を担当していて、ラグビーの選手である以上に「All for one, One for all」の精神を持ったジェントルマンになって欲しい」と指導しています。

なかなか言うことを聞かないし、集中力が続かないので苦労していますが、子どもたちには、いつも元気をもらっています。「友だちとの約束は守ろう!」と、雨の中でも試合を頑張ってくれまし、全力で試合に挑み、勝っても負けても大きな声で「ありがとうございました」のノーサイドの挨拶をする時は、「良くやった」と、一番うれし

い瞬間です。

2019年にはラグビー・ワールドカップが日本で開催され、熊本でも試合が組まれています。それまでは現役のコーチで頑張りたいと、毎日、子どもたちと一緒に走っています。

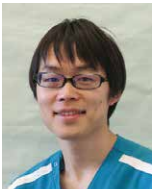
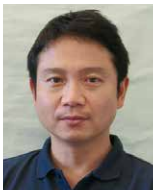


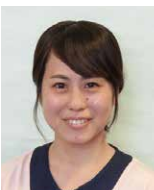
職員往来

2016年4月1日～2017年6月30日

熊本地震の影響で今までご紹介できませんでしたが、昨年4月からの採用、退職、研修医をご紹介します。

新しい職場でがんばっています。よろしくお願いします。

凡例 	フリガナ 名前 入職年月日 現在の所属 職種	 フジヤマ ヤスノブ 藤山 靖展 2016年4月1日 橘病棟 准看護師	 イワムラ ケイスケ 岩村 圭祐 2016年4月1日 1病棟 介護福祉士
		 キヨタ モエコ 清田 萌子 2016年4月1日 2病棟 看護アシスタント	 キド タクヤ 木戸 拓耶 2016年4月1日 3病棟 作業療法士
	 ヨシザワ ユキ 吉澤 友希 2016年4月1日 アントニオ 支援員	 カネコ トモキ 金子 知輝 2016年4月1日 コスモ 支援員	 ナガノ ケンタロウ 永野 健太郎 2016年10月1日 アントニオ 社会福祉士
	 ウエノ ミユキ 上野 美由紀 2016年12月1日 ふるさと 介護福祉士	 スミヨシ ミチヨ 住吉 美智代 2017年1月1日 ひろやすクリニック 准看護師	 シライ ヨシコ 白井 美子 2017年1月1日 ひろやすクリニック 看護師
	 アサイ サユリ 浅井 小百合 2017年1月1日 ひろやすクリニック 准看護師	 ゴトウ レイコ 後藤 玲子 2017年1月1日 ひろやすクリニック 事務	 ワタナベ ミホ 渡邊 美保 2017年1月1日 ひろやすクリニック 事務
	 ヨシダ マキ 吉田 真紀 2017年1月4日 2病棟 介護福祉士	 ナカムラ ユミ 中村 結巳 2017年2月1日 看護部 歯科衛生士	 ハラダ タダユキ 原田 忠行 2017年2月13日 2病棟 看護師

	ヨシダ コウジ 吉田 浩二 2017年2月13日 1病棟 准看護師		ナミセ チエミ 浪瀬 智恵美 2017年3月1日 1病棟 看護師		オガワウチ ユミ 小川内 友美 2017年4月1日 1病棟 看護アシスタント
	ノグチ ユカ 野口 結花 2017年5月1日 1病棟 看護師		トノガキ アツコ 豊永 温子 2017年5月16日 2病棟 看護師		キタムラ キミコ 北村 紀美子 2017年5月16日 橘病棟 看護師
	イツカ メグミ 猪塚 恵 2017年5月16日 栄養管理科 調理師		ワタナベ ミカ 渡邊 美香 2017年6月1日 1病棟 介護福祉士		ウメダ ノリコ 梅田 典子 2017年6月1日 ふるさと 介護福祉士
	ミヤモト フミコ 宮本 富美子 2017年6月1日 栄養管理科 調理師		マサナガ サチコ 益永 さち子 2017年6月1日 栄養管理科 調理アシスタント		デザキ ハルカ 出崎 遥 2017年6月12日 栄養管理科 調理師

退職 お疲れ様でした。

内村 ハマ	2016/4/30	調理師	中原 美由紀	2016/8/31	介護福祉士
中村 明秀	2016/4/30	介護福祉士	花田 学	2016/8/31	看護アシスタント
栄本 琴美	2016/5/13	調理スタッフ	宮田 琢磨	2016/8/31	精神保健福祉士
中村 千鶴	2016/5/31	看護師	松本 宏美	2016/10/31	医師
沼津 則子	2016/6/24	准看護師	大瀬 茉耶	2016/10/31	介護福祉士
松岡 まち子	2016/6/30	准看護師	新堀 恵	2016/12/31	看護師
榎田 智之	2016/7/16	施設管理	東 奈央子	2017/2/28	准看護師
永田 沙織	2016/7/31	看護師	濱田 恵里奈	2017/2/28	看護アシスタント
江嶋 陽子	2016/7/31	准看護師	中島 瑞穂	2017/2/28	調理アシスタント
森岡 由紀	2016/8/31	医師	森 枝 悟	2017/3/31	医師
末永 英士	2016/8/31	医師	藏田 恵子	2017/3/31	看護師
平島 光臣	2016/8/31	医師	阿蘇 品保夫	2017/4/1	文化部
金守 節子	2016/8/31	看護師	古川 法聖	2017/4/30	精神保健福祉士
福原 二美子	2016/8/31	准看護師			

研修医

御任 玲美	2016/4/4~2016/4/14	済生会熊本病院	吉本 春香	2016/8/15~2016/9/9	済生会熊本病院
牧 雄二	2016/5/9~2016/5/27	済生会熊本病院	玉野井 大介	2016/9/5~2016/9/30	済生会熊本病院
神尾 未紗希	2016/6/1~2016/6/30	熊本市市民病院	工藤 泉璃	2016/12/19~2017/1/20	熊本中央病院
佐藤 英明	2016/6/27~2016/8/19	熊本中央病院	佐藤 桜	2017/1/4~2017/1/27	熊本中央病院
池田 知聡	2016/7/4~2016/7/29	済生会熊本病院	植村 友美子	2017/5/29~2017/6/23	熊本中央病院

研

修



院

内

勉

強

会

院 内

4月	17日	イーライリリー web講演会「うつ病治療の変遷」
	21日	認知症初期集中支援チームビデオ研修会
5月	18日	院内勉強会「チーム医療による服薬 アドヒアランスのサポート」
	18日	イーライリリー web講演会
6月	3,10日	CVPPP院内研修
	14日	メンタルケアネットフォーラムwebセミナー（古富薬品）
	22,28,29日	医療安全・感染対策委員会の合同職員研修

院 外

4月	9日	九州ブロックアメシスト研修会（石塚久子、荒牧奈菜、山迫浩史、寺本朱里）
	19日	第2回熊本アルコール使用障害治療セミナー「アルコール依存症者の震災体験談」（松永哲夫）
	27日	第7回熊本てんかん基礎セミナー研修会（宮崎知博）
	28日	福精協事務長会講演会【講演：犬飼邦明】／福岡県
5月	12日	日精協災害時支援中心病院研修（犬飼邦明）【講演：佐伯貴志】／東京都
	13日	ヤンセンファーマ経営セミナー（犬飼邦明）
	13日	上益城介護支援事業所連絡会（本田千代美）
	19日	第5回京都医療情報交換会【講演：宮崎翔】／リコージャパン（株）京都府
	20日	日本医療メディエーター研修（差分補講）（佐伯貴志）
	23日	熊精協看護部会管理者研修会（村添清美、山下義晴）
	25日	日精看熊本県支部研修（福溝小百合、阪本浩資）
	27日	佐賀精神科病院協会「精神科訪問看護に関する研修会」【講演：犬飼邦明、水田由紀、豊永宜子、宮崎翔】
6月	3日	熊本県精神保健福祉士協会総会・研修会（15名参加）
	3日	熊本県精神保健福祉士協会代13回通常総会並びに第51回研修会・懇親会（犬飼邦明）
	4日	アルコール健康障害対策一般市民公開セミナー【講演：松永哲夫】／八代市
	7,8日	防火管理甲種新規講習（佐々木哲郎）
	10日	福岡県デイクア研究協議会シンポジウム（湯原徹）
	10日	認知症疾患医療センター基幹型事例検討会（宮崎知博、他7名）／阿蘇やまなみ病院
	11日	大分県断酒連合会・竹田断酒会創立15周年記念大会【公演：松永哲夫】／竹田市
	11日	自治医科大学講演会【講演：吉村裕子】／栃木県
	12日	平成29年度精神障がいピアサポート講演会（宗雲美樹、北里成美、吉澤友希、古田圭介）
	14日	熊精協事務長会総会及び研修会（伊藤三樹男、宮崎翔）
	17日	精神看護ディスコース分析研修会（水田由紀、梶山美香）
	16～18日	第42回日本精神科看護学術集会（工藤弘美・阪本浩資）
	20日	熊本県介護サービス事業者等集団指導（福島ひろみ・本田千代美）
	22～24日	第113回日本精神神経学会学術総会（犬飼邦明、鮫島峰子、渡邊鮎子、西尾啓）【学会】
	23日	西川病院職員研修「熊本地震報告」（金子元子）
	24日	日精看島根県支部研修会・一般研修「災害時の対応について」（金子元子）
	28日	長崎県真珠園療養所職員研修会「熊本地震報告」（梅田亮一）
	28日	認知症介護実践者研修（福本英子）

対立を協調へと導く専門スキルを習得

「日本医療メディエーター養成講座」



法人事務局 課長 佐伯 貴志

様々な場面において、大小関わらず対立場面が生じることもあるかと思います。その際、当事者同士が話し合いで、協調的に解決できることが最良であることは誰もが望まれるところです。この研修は、そうした場面において傾聴・共感を重んじ、それをもとにIPI分析*を用いて主張や怒りの裏にある真意を見出ししていくものでした。对患者さんだけでなく、職員間などさまざまな場面で調整役として尽力できればと思います。

※IPI分析…Issue(問題)、Position(要求、主張など)、Interest(“P”の裏にある真の要求)

“I did it !” トライしました！ 研修&資格取得etc.

日本精神科医学会認定看護師の認定を受けて



認知症治療病棟 病棟長 梅田 亮一

この度、日本精神科医学会認定看護師の認定を受けることができました。外部研修のため度々上京し、長期間勤務を外れることもありましたが、同僚や病棟スタッフが快く送り出してくれたことに感謝致します。通信教育で学んださまざまな事例をもとに、得られた成果を看護場面や病棟活動で生かすとともにスタッフに広め、病状に合った看護を患者さんに提供できるよう取り組みます。

2017年4月～6月

病院等行事

4月	1日	益城病院長杯グランドゴルフ大会
	10日	ふるさと入居者百寿祝い
	11～30日	犬飼記念美術館熊本地震復興特別企画「熊本地震復興写真と真生流いけばな展」
	15日	益城病院復興祈念イベント
	19日	高齢者グループホーム「ふるさと」入居者百寿表彰（西村町長訪問）
5月	25日	熊精協非常食マニュアル訓練
	20日	就労継続支援事業所「健味健食園」・地域活動支援センター「アントニオ」合同バーベキュー
	27日	火災避難訓練（夜間想定）
	2～21日	ましきの美・ましきの道展／美術館
	10、12日	胸部レントゲン検査（職員一般検診）
	16～31日	職員一般検診
	22日	ふるさと火災避難訓練
6月	23～6月11日	二子石義之版画コレクション展／美術館
	8日	第15回くませいフェスタ
	13～7月1日	地域公募展／美術館
	14日	あじさい忌
	22日	バイキング給食

実習生受け入れ実績

5月

- ・ PSW実習／九州ルーテル学園（1名）
- ・ 健味健食園実習／熊本県立松橋西支援学校高等部上益城分教室（1名）

診療実績

単位：人

区 分		4月	5月	6月
外 来	外来患者延人数	2,717	3,019	3,051
	（うち新規患者人数）	45	43	73
	平均外来患者人数	135.9	131.3	138.7
入 院	新入院患者人数	31	41	33
	退院患者人数	25	39	37
	在院患者延人数	3,175	6,481	6,226
	平均入院患者人数	205.8	209.1	207.5
	平均在院日数(単位：日)	220.5	162.0	177.9



花時計と育児室の子ども

編集後記

大雨によって、熊本地震を思い出させるような甚大な被害が朝倉・日田・鹿児島などに出ています。自然は癒しの素晴らしさをもたらしてくれる反面、時として人の命を奪い、住む土地さえ破壊する怖さを合わせもっています。日々の穏やかな暮らしを続けることの難しさに戸惑い、自分の命は自分で守る必要に迫られています。せめて病院は、安心・安全の場を提供できるよう準備を整え続けます。(田中洋子)

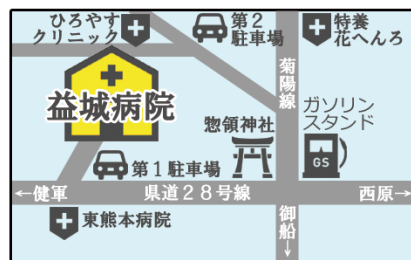
精神科・心療内科・小児科・歯科



社会医療法人ましき会

益城病院

MASHIKI HOSPITAL



096-286-3611

外来お電話受付時間(平日月曜～金曜)

午前 9:00～12:00 / 午後 13:30～17:00

【付属施設】

- 熊本県認知症疾患医療センター
- 高齢者グループホーム「ふるさと」
- 地域活動支援センター「アントニオ」
- 訪問看護ステーション
- 居宅介護支援センター
- 就労継続支援B型事業所
パン工房まりも・農園グリーンサム・軽作業 あひるのしっぽ
- 宿泊型自立訓練事業所「コスモ」
- 育児室「あんふぁん」
- 犬飼記念美術館

【関連施設】

- ひろやすクリニック 内科・消化器科・循環器科
熊本県上益城郡益城町惣領1544番地3
TEL 096-286-3636
- 特別養護老人ホーム 花へんろ
熊本県上益城郡益城町惣領1670
TEL 096-287-8706
- 養護老人ホーム AKAI 花へんろ
熊本県上益城郡益城町赤井1800
TEL 096-286-2075

〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領 1530

益城病院

検索